

「白滝じゃが生産部会 ジャガリンズ」

■ 事業者の概要

- 所在地 : 紋別郡遠軽町
- 運営主体 : (旧) 白滝じゃが生産部会 加工班
:(新) 白滝じゃが生産部会 ジャガリンズ

○取組内容(分類): ジャガイモ料理コンテストの開催

○【ホームページ】:<https://www.shirataki-j.com/>

【Facebook】:<https://www.facebook.com/shirataki.ja>

【Instagram】:<https://www.instagram.com/shirataki.ja/>

【twitter】:<https://twitter.com/shiratakija>



レシピ本

■ 経緯・内容

○町村合併により失われる「白滝」という名前を残していこうとの思い、「白滝元気だね。頑張っているね」と、発信・PRすることを目的として活動を開始。

平成18年から、特産品である「白滝じゃが」を使ったじゃがいも料理コンテスト「じゃがリンピック」を生産者のお母さん達が開催。

○現在の会員は7名。全員が白滝でじゃがいもを作付けしている農家であり、設立当初から会員の半分程度が世代交代をしている。

○これまでに2冊のジャガイモ料理のレシピ本を出版している。

■ 活動について

○コンテストの開催資金は、農協、観光協会の出資とレシピ本の販売収入。

○2019年は、TV番組「あぐり王国北海道 NEXT」に特集された影響もあり、コンテストへの出品が増えたが、審査は試食を伴うため(食べるのが大変)、16品程度が限界と判断。応募数を増やしすぎないことも長続きのコツである。

○料理教室の講師に呼ばれる事も多く、地元教育センターの依頼で毎春休みに親子を対象としたじゃがいも料理教室を開催している。

■ 活動継続の秘訣

○無理せず、できる範囲で、細々としても続けることが重要と考えている。

○若年層からベテランまで、会員の年齢構成が幅広いため、みんなが参加できるよう、バランスを取りながら進めていくこともポイント。

○地域の協力を得ることも大切にしているが、普段は自分たちの力だけで活動することを基本とし、活動の方向性をブレさせないことが、回数を重ねていけるポイントである。

■活動の成果

○平成30年秋に2冊目のレシピ本が出版された。
この売上を活動資金に充て、取組の充実を図っている。

○コンテストには赤井川村や千歳市からの参加があるなど、他地域との人の交流が図られ、白滝の活性化につながっている。



コンクールの様子

○近年、「じゃがリンピック」という、全国でも珍しい独自性の高い料理イベントが地域に根付き、「白滝」の地名が知られるようになってきた。また、料理教室やイベントを通し、消費者や子ども達との交流を深めることにより、「白滝じゃが」のPRや消費拡大のほか、地域の食文化を残していくことにも貢献している。

■今後の展望

○活動は安定しており、細々としてでも継続することに意義があると考えている。

○今後も生産者ならではの色を前面に出しながら、地域の特産品として、「白滝じゃが」の美味しさを広く発信していきたい。

●まとめ

○「白滝」の地名を残したい、地域が元気で頑張っていることを伝えたい、との思いから始まった活動と、無理せずできる範囲で続けていく、という取組の姿勢が継続の最大の要因となっている。

○また、「白滝じゃが」の美味しさを、広く伝えるため、「じゃがリンピック」の開催し継続していること（毎年2月に開催）、さらには、じゃがいも料理のレシピ本を出版するなど、地域の特産物のPRが図られているほか、人的交流や地域の食文化継承への貢献など、地域の活性化にも寄与する素晴らしい取組と言える。



◇お話をいただいた代表の大久保さん

(R2.2.5 取材)

